

ナイス福岡 会報

自然感

くすのき

2022年1月
第 318 号

新年 おめでとうございます。極端な寒さと暖かさの入り混じった年末年始の空模様でしたが、福岡の元旦では美しい御日様に巡り合うことが出来ました。穏やかな1年で有ることを願っています。ナイス福岡代表：田村耕作



●冬枯れの野原でも陽の良く当たる地面では、太陽のエネルギーをいっぱい受けようと、草たちが目いっぱい葉をひろげて春を待っています。aiko.

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)
代表：田村耕作／事務局長：小野 仁
編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦
〒814-0113 福岡市城南区田島3丁目7番14号
田村の自宅内 TEL : 090-8220-6160
URL : <http://www.kurabird.com/>
掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会★

春日公園での自然観察会 (124回)

日時：1月15日(土) 10時から12時

の予定です。現在、公園の利用が可能です。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 090-8220-6160【田村の携帯】

注意 各団体とも、新型コロナウイルス感染拡大状況により、下記の予定も変更になることがあります。
詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

1月16日（日）2月20日（日）
 天拝山探鳥会（筑紫野市）
 時間：9:00～12:00
 集合：天拝山歴史自然公園
 問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

1月23日（日）2月27日（日）
 久末ダム探鳥会（福津市）
 時間：9:00～12:00
 集合：久末ダム多目的広場横
 駐車場（管理事務所下）
 問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

2月6日（日）
 今津探鳥会（福岡市西区）
 時間：9:00～12:00
 集合：玄洋高校西側道路
 問合せ：090-8220-6160（田村耕作）

2月12日（土）
 大濠公園（福岡市）
 時間：9:00～12:00
 集合：ボート乗り場前
 問合せ：092-834-8644（持永俊行）

2月13日（日）
 和白海岸探鳥会（福岡市東区）
 時間：9:00～12:00
 集合：JR 和白駅前の公園
 問合せ：092-606-0012（山本廣子）

2月1日（火）
 県営春日公園（春日市）
 時間：10:00～12:00
 集合：音楽堂ステージ側（第5P）
 問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部

1月23日（日）
 久留米城跡・筑後川
 時間：9:00～
 集合：久留米城内篠山神社本殿前
 問合せ：090-4357-3043（溝田康博）
 参加費：会員100円 一般200円
 高校生100円
 （中学生以下無料）

福岡植物友の会

お問い合わせください
 問合せ：佃 昇（092-662-2983）

久留米の自然を守る会

2/13（日）総会後の講演会
 角正博先生の「したたかなコケの世界」
 地衣類・蘚苔類などのパネルや
 コケアクアリウム展示など
 開始時間は下記で確認を。
 問合せ：河内（0942-43-7959）



ツユクサの実を食べるミヤマホオジロ 三国 松永

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

2月5日（土）
 集合：九州歴史資料館駐車場
 時間：9:30～12:00
 （早めに終わるかもしれません）
 問合せ：092-920-3072
 参加費：大人200円
 コロナ対策：ブログにて確認
 ブログ「三国丘陵の自然を楽しむ会」で

 観察会や様々な生きもの情報を載せて
 います



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子

和白干潟を守る会

1月22日（土）
 定例会議
 時間：12:30～14:00
 集合：和白干潟を守る会事務所
 問合せ：092-606-0012（山本廣子）

1月22（土）
 クリーン作戦 と自然観察会
 時間：15:00～17:00
 集合：海の広場 駐車場なし
 長靴・軍手があると便利
 問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）



三国の溜池 松永

2021年12月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、12月1日(旧暦10月27日)~12月31日(旧暦11月28日)までのデジカメ日誌です。(文・写真 本のむし)



12月1日(旧暦10月27日) 筑紫野市天拝坂
我が家の秋の終わりである。上左からドウダンツツジ、イロハモミジ、コナラ、マルバノキ、ニシキギ。このあと、強い風にあおられて急速に冬らしい庭になっていった。



12月2日(旧暦10月28日) 筑紫野市天拝坂
この冬初めて、庭に混群がやって来た。エナガを中心に、シジュウカラ、メジロの三種だった。最近虫が少ないようだったが、盛んに枝をつついてた。



12月6日(旧暦11月3日) 筑紫野市天拝坂
我が家での、この冬のツグミの初認。シベリア中部辺りから、大きな群れを成して渡って来て、越冬地に着くとバラバラになってこのように単独で冬を過ごす。かつて、霞網で大量に密猟された悲しい記憶。



12月19日(旧暦11月16日) 筑紫野市天拝坂
木枯らしの後、ケヤキの葉が落ちて、大きな巣が現れた。何の巣かなと思っていたら、ハシブトガラスがやって来た。繁殖期は3月後半くらいからだから、何しに来たのだろう。ひょっとして、ここで生まれたのか？

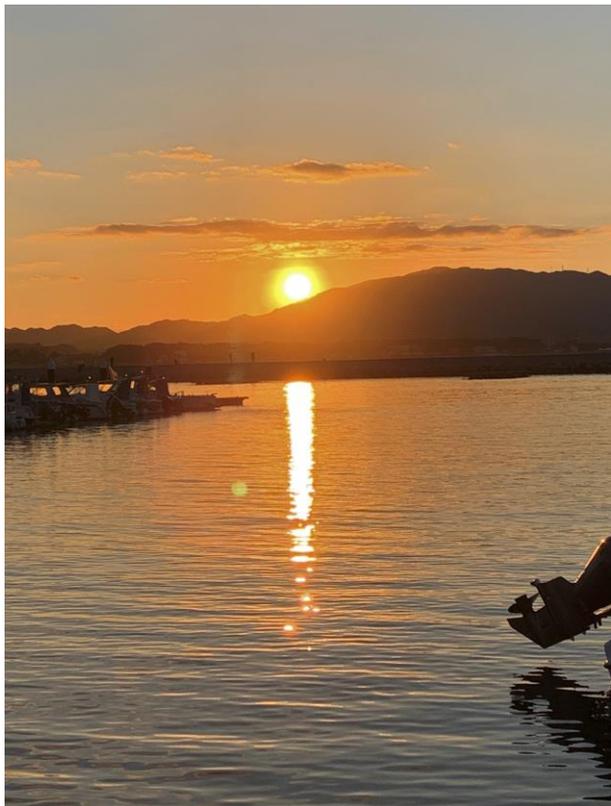


12月24日(旧暦11月21日) 筑紫野市搭原
穏やかに晴れた日のお昼ごろ、道端のヨモギの葉の上に、1cm弱で瑠璃色のハムシが交尾をしていた。でも何かが変だ。右の♀のお腹が異様に大きい。翅が小さく見える。まだまだ知らないことが多い。・・・だから楽しい。



12月24日(旧暦11月21日) 筑紫野市天拝公園
ツツジ園の北端に大きなモミジの樹がある。少し高い所で幹は二つに分かれるがそこに洞がある。アトリが頭を突っ込んで水を飲んでいるようだ。この後も2羽ほど水を飲んでいった。洞のある大樹は大切にしたいものです。

会員からの投稿(1) 洪田和美



今年も初日の出を見ることができました
海に映る日の出は本当に美しい
今年こそ自由にあちこち行けますようにと願いながら、夜明けを眺めていると、シノリガモに会いました
今年初の鳥はシノリガモ
なかなか幸先良い感じの一年です
皆様今年もよろしくお祈りします

会員からの投稿(2) 溝口澄子

アサギマダラの記事がありました、私の庭にもマーキングしたものがやってきました。調べてみたら、長野県大町市から、丁度一か月かけて飛んできたものと分かりました。

自然は感動のかたまりですね。

マーキングの中のNPは「のっぺ山荘」だそうです。長野県大町市で、個人でやってあるらしいです。一度電話してみましたが、ただいま休業中という留守電でした。

私の庭に来たのが10月14日で丁度一か月後になっています。5匹のアサギマダラとアカタテハ、メスグロヒョウモンのメス、蛾ですがサツマニシキも2匹とにぎやかでした。

会員からの投稿(3) 志賀壮史

2022年1月号 SDGsの17の目標(その11)

SDGs(持続可能な開発目標)の17の目標を少しずつ取り上げています。今回は「気候変動に具体的な対策を(Climate Action)」です。

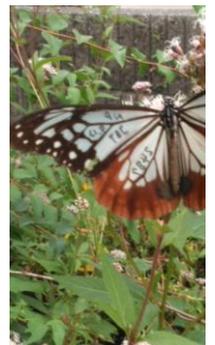
人間が排出する温室効果ガスによる気候変動が世界的な課題とならずいぶん経ちます。1992年の国連気候変動枠組条約の採択から数えると今年でちょうど30年。

30年前に「平均気温の上昇」や「台風や大雨、干魃の増加」と言われても、正直あまり想像できないという人も多かったかもしれません。しかし残念ながら、近年はそれを実感させるニュースが増えています。

写真はタテハモドキ。4月にかなたけの里公園で田村さんが撮影したものです。

もともとインドやマレーシア、南西諸島に分布したタテハモドキも、気候変動によって徐々に北上していると言われていいます。1950年代に鹿児島県で定着が確認、1990年代には熊本県と佐賀県で。福岡市内では2000年になってからの記録があります(チョウの専門家Fさんのウェブサイト)。

身近な生きものや自然にも確かに変化が起きているようです。「その変化に気づくこと」と「身近なことから取り組むこと」が大切ですね。



春日公園自然観察会 令和3年12月18日(土)【参加者数】【担当】4人、田村耕作

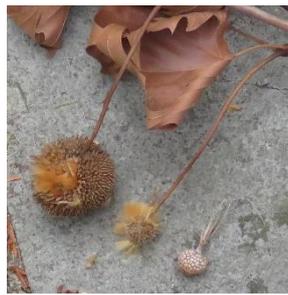
観察は、自然あそび館～芝生広場・調整池～ショウブ池～カスケード～噴水広場～自然風庭園～自然あそび館で歩いた。
観察内容、種を中心に観察

植物 モミジバフウ、ビヨウヤナギ、アキノレ、スズカケ、ラクウショウ、タイワンフウ、メタセコイヤ、トウカエデ
野鳥 メジロ、エナガ、コゲラ、キジバト、スズメ、ハクセキレイ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ツグミ、シロハラ、
ジョウビタキ、カワラヒワ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、カワラバト、
その他の生きもの サンゴジュの紅葉

感想(参加者の声)

- ・モミジバフウの実から種を採り出すことが印象に残った。
- ・アキノレの種(大きさ2～3mm程度)をアトリ科の鳥が「食べている」を知る。
- ・スズカケの実から1個の種を取り出す。種が飛び出す様子を知ることが出来た。

モミジバフウの実断面を観察 スズカケの実 スズカケの実から取り出した種1個



メタセコイヤの種

ラクウショウの実と種

カエデの種



会員からの投稿(3) 山本勝

最近の人出を観ると、コロナ慣れというか、人が本来持っている「横着さ」が目立つようです。
私も、元日は春吉のお寺の修正会に参加し、久しぶりにお仲間の門徒さんと、短時間でしたがお話しできました。
添付の写真は、12/29の薬院新川の暮れの景色です。



会員からの投稿(4) 田村耕作 最近出会った野鳥、里山で見かけた正面の顔を集めてみました。



ウグイス、メジロ、アトリ、
ジョウビタキ、マヒワ、カシラダカ、
ホオアカ、タヒバリ、ホオジロ、

顔の表情、おもしろいですね。



◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆

会費振込について

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2021年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費:2000円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 [01760-9-15783](tel:01760-9-15783)

定例会に参加してみませんか?

次回の定例会は、令和4年2月10日(木)午後2時より事務局で行います。令和4年2月号の原稿は、2/7(月)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。



編集後記 2021年12月の定例発送会は、藤川渡と田村耕作が、それぞれの自宅で作業した。

先日、落葉樹の多い林で赤い集団を見かけました。近寄って見ると、サルトリイバラ(猿捕茨)の実がたくさんなっていたのです。この時期、リースの良い材料になりそうかなと思いました。しかし、ここは公共の区域、採取厳禁。

小さい頃、春にこの葉を摘んで、節句の頃に作るお餅を包む材料にしていました。昔から里山の暮らしと関わりの深いようです。

この葉の呼び名は、他にイゲンハ、ガメノハ、サンキライ等いろいろな方言があるようです。

このように、ものを包む材料としていろいろな植物が利用されています。笹の葉、タケノコの皮、ヨシの葉等ですが、用が済めば、簡単に土に返せます。しかし、今の包む材料は、どうでしょうか。



撮影:2022.1/6 篠栗町の九大の森公園にて